

政策	71 市民と行政の協働と情報共有化の推進					
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
対象	市民全般					
施策が目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 一体感のある栃木市の創出を念頭に、地域の特性に応じた市民によるまちづくりを推進する。 市民活動や地域活動を支える市民団体・コミュニティ組織への支援、適切な市民参画機会の確保、市民と行政との情報の共有化などを図る。 					
成果指標	住民参加の満足度.....5年間（平成25年度～平成29年度）で70.0%（現状値44%） 行政情報の満足度.....5年間（平成25年度～平成29年度）で70.0%（現状値44%）					
目標達成状況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [%]	予定				70.00
		実績			47.50	
	成果指標2 [%]	予定				70.00
		実績			47.50	
	成果指標3 []	予定				
		実績				
	成果指標4 []	予定				
実績						
トータルコスト (千円)	予定	846,214	1,219,866	942,966	1,070,574	
	実績	806,724	946,056	882,073	1,057,184	0
内部評価	貢献度	基本方針が目指す姿である「一体感の創出」や市民と行政が共に考え共に築いていくまちづくりを進める上で、本基本施策の目標の達成は大きく貢献するものである。				
	達成状況	住民参加及び行政情報の満足度調査では、両満足度は47.5%であり、市民の満足度があまり高くない。				
	課題	市民の満足度向上のため、市民の行政施策への参加促進や市民への行政情報の発信・周知方法等について、更なる工夫が必要である。				
	取組方針	あらゆる情報発信機能を用いて、各種行政情報の周知に努め、情報の共有化を図るとともに、まちづくりに対する意識の地域間格差の解消に努める。				
外部評価	まちづくりに対する意識について、地域の特性や実情の分析及び検討を行っていただきたい。そのひとつに地域の特性として、それぞれの地域に「まつり」があると思われるが、広報で特集を組むなど周知をお願いしたい。いろいろな地域のまつりに参加することにより、地域間交流が進むとともに、その地域に興味を持つことにより、まちづくり意識への醸成につながると思われる。 単位施策でも評価したが、基本施策の実現のためにも、市がどんな事業を実施し、どこが改善されたのかをバスツアー等を実施するなど、実際に目で確認できるような情報の共有化を進めてほしい。 成果指標の満足度では、目標に大きく届いていないが、満足度とは別の指標設定が必要ではないか。					
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称			トータルコスト(千円)	達成度
	7101	地域自治の仕組みづくり			6,694	100
	7102	身近なまちづくりの推進			178,833	100
	7103	市民活動の推進			120,086	98
	7105	情報共有化の推進			121,120	98
	7104	市民参画の充実			631,451	93

平成28年度 基本 施策評価表 補表

施策	71 市民と行政の協働と情報共有化の推進		
区分	妥当性	妥当	基本方針の実現に向け、当該基本施策は妥当である。
	コスト削減の余地	有	財源をねん出する一方で、不要なコストを削減する余地はある。
	受益者負担	適正	市民協働と市民参画において現行の受益者負担は適当である。
	上位貢献度	有効	基本方針の実現に向け、当該基本施策の上位貢献度は大きい。
	類似事業の有無	無	他に類似する事務事業は見受けられない。
	成果向上の余地	有	市民と行政の協働を更に向上させていく余地がある。
内部評価	貢献度		
	達成状況		
	課題		
	取組方針		